

第44回 花巻市景況調査結果

(2021年1月～3月期)

花巻市景況調査

花巻市内中小企業100社を対象として4半期ごとに調査を実施。今回の回収率は98%。

D I 値・・・「好転」「増加」の割合から「悪化」「減少」の割合を差し引いた数値。D I 値プラスは「好転」、マイナスは「悪化」を表す

- 「業況判断D I 17.2ポイント悪化」(▲31.1→▲48.3)
- 「売上額D I 33.4ポイント減少」(▲33.4→▲66.8)」

業況判断D I ▲48.3 (全国平均▲29.5)

花巻市の業況判断D Iは、今期全産業平均でマイナス幅が17.2ポイント拡大(▲31.1→▲48.3)し、3期ぶりに悪化を示した。

業種別に見ると、建設業が唯一横ばいを示したが、その他の業種はマイナス幅が拡大しいずれもD I 値が50%以下を示した。

来期予想は、製造業と卸売業は好転の見込みであり、建設業・小売業・サービス業は悪化を見込んでいる。全国の調査結果では、全産業平均の業況判断が3.4ポイント減(▲26.1→▲29.5)となり、3期ぶりにマイナス幅が拡大した。業種別に見ると製造業が4.2ポイント増、非製造業が5.8ポイント減となっている。

東北経済産業局管内でも、6県平均3.2ポイントマイナス幅が拡大(▲29.8→▲33.0)した。

岩手県においては全産業平均8.2ポイントマイナス幅が拡大し▲32.6となった。

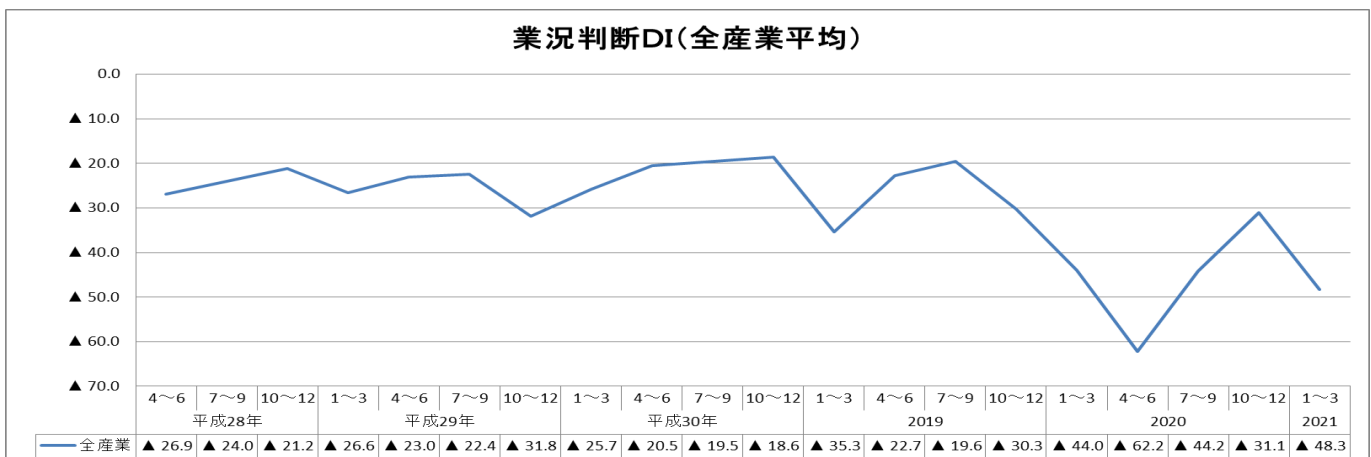
(D I 値比較)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
全国平均	▲25.0	▲14.3	▲27.7	▲35.4	▲35.6	▲29.5
東北平均	▲34.4	▲9.1	▲26.6	▲39.7	▲38.0	▲33.0
花巻市	▲55.6	▲25.0	▲55.6	▲55.6	▲50.0	▲48.3

業況判断(前期比)	年	平成28年			平成29年			平成30年			2019			2020			2021	前期増減	末期予想					
		4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12								
製造業		▲16.7	▲16.7	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲22.2	▲27.8	▲5.6	▲27.8	▲11.1	▲5.6	▲22.2	▲27.8	▲27.8	▲11.1	▲33.3	▲72.2	▲44.4	▲38.9	▲55.6	↘	▲16.7	▲44.4
建設業		0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	0.0	▲25.0	▲35.0	5.0	▲10.0	▲45.0	▲50.0	▲10.0	▲25.0	▲25.0	→	0.0	▲45.0
卸売業		▲44.4	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲11.1	▲44.4	▲22.2	▲11.1	▲44.4	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲11.1	▲33.3	▲33.3	▲55.6	▲44.4	▲11.1	▲55.6	↘	▲44.4	▲33.3
小売業		▲40.0	▲37.1	▲28.6	▲34.3	▲42.9	▲40.0	▲42.9	▲51.4	▲37.1	▲14.3	▲42.9	▲51.4	▲22.9	▲30.6	▲58.3	▲69.4	▲83.3	▲66.7	▲41.7	▲55.6	↘	▲13.9	▲61.1
サービス業		▲33.3	▲27.8	▲27.8	▲33.3	▲33.3	▲38.9	▲38.9	▲44.4	▲16.7	▲27.8	▲11.1	▲44.4	▲16.7	▲33.3	▲38.9	▲38.9	▲50.0	▲55.6	▲38.9	▲50.0	↘	▲11.1	▲66.7
全産業		▲26.9	▲24.0	▲21.2	▲26.6	▲23.0	▲22.4	▲31.8	▲25.7	▲20.5	▲19.5	▲18.6	▲35.3	▲22.7	▲19.6	▲30.3	▲44.0	▲62.2	▲44.2	▲31.1	▲48.3	↘	▲17.2	▲50.1

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

業況判断DI(全産業平均)



売上額DI ▲66.8 (全国平均▲26.8)

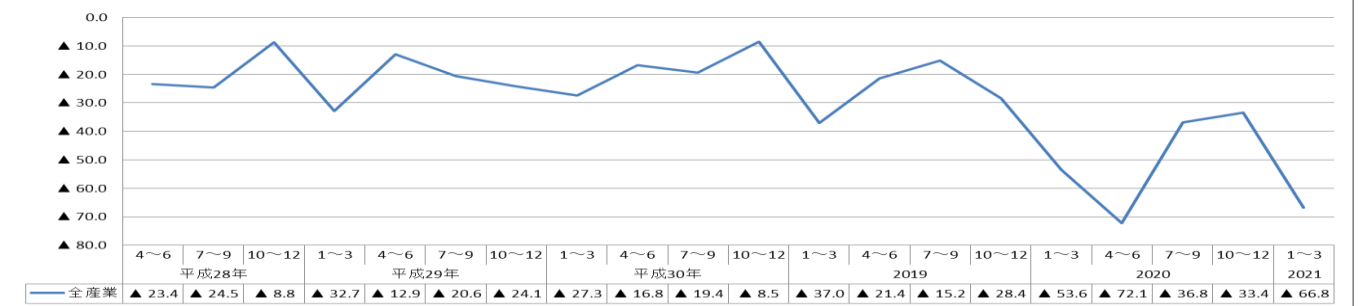
売上額DIは、全産業平均33.4ポイント減でマイナス幅が大幅に拡大(▲33.4→▲66.8)した。
業種別に見てもすべての業種で大幅に減少しており、特に卸売業・小売業・サービス業がDI値マイナス70以下となり非常に厳しい状況を示した。
来期予想では、製造業・卸売業・小売業でやや改善が見込まれており、建設業・サービス業はさらに悪化すると予想している。
全国の調査結果では、全産業平均▲26.8で前期差3.1ポイントの減となっている。業種別に見ると製造業と建設業が5ポイント前後の改善となったが、卸売業・小売業・サービス業はマイナス幅が拡大している。

売上額DI(前期比)

年 月期	平成28年			平成29年			平成30年			2019			2020			2021	前期増減	来期予想					
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3							
製造業	▲44.4	▲11.1	0.0	▲44.4	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲11.1	▲11.1	▲11.1	0.0	▲44.4	▲44.4	▲16.7	16.7	▲66.7	▲77.8	▲50.0	▲22.2	▲61.1	↘	▲38.9	▲44.4
建設業	15.0	▲10.0	15.0	▲10.0	▲5.0	▲10.0	0.0	▲10.0	▲25.0	▲10.0	▲5.0	▲25.0	▲40.0	10.0	▲20.0	▲40.0	▲80.0	5.0	▲20.0	▲45.0	↘	▲25.0	▲50.0
卸売業	▲11.1	▲33.3	▲22.2	▲33.3	11.1	0.0	▲44.4	▲22.2	0.0	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲11.1	0.0	▲22.2	▲33.3	▲66.7	▲44.4	▲22.2	▲77.8	↘	▲55.6	▲44.4
小売業	▲42.9	▲45.7	▲25.7	▲31.4	▲42.9	▲48.6	▲31.4	▲48.6	▲25.7	▲25.7	▲48.6	▲60.0	▲5.7	▲30.6	▲66.7	▲77.8	▲75.0	▲61.1	▲58.3	▲77.8	↘	▲19.4	▲63.9
サービス業	▲33.3	▲22.2	▲11.1	▲44.4	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲44.4	▲22.2	▲27.8	22.2	▲44.4	▲5.6	▲38.9	▲50.0	▲50.0	▲61.1	▲33.3	▲44.4	▲72.2	↘	▲27.8	▲77.8
全産業	▲23.4	▲24.5	▲8.8	▲32.7	▲12.9	▲20.6	▲24.1	▲27.3	▲16.8	▲19.4	▲8.5	▲37.0	▲21.4	▲15.2	▲28.4	▲53.6	▲72.1	▲36.8	▲33.4	▲66.8	↘	▲33.4	▲56.1

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

売上額DI(全産業平均)



経常利益DI ▲57.0 (全国平均▲43.8)

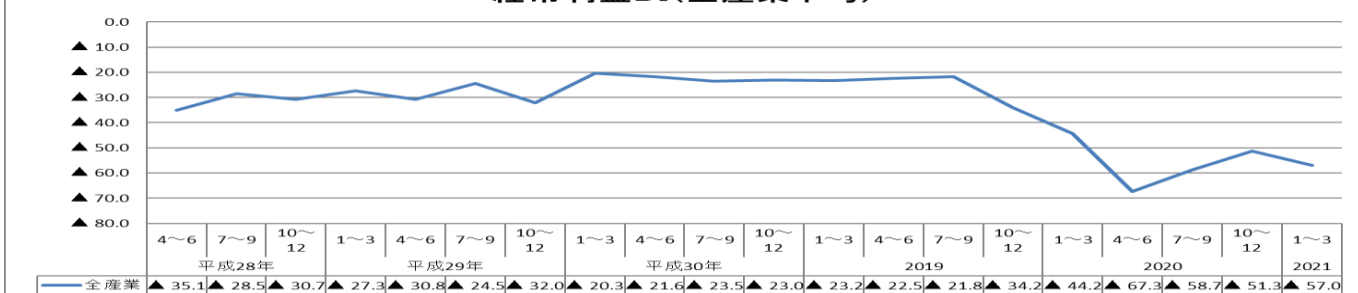
経常利益DIは、全産業平均でマイナス幅が5.7ポイント拡大し(▲51.3→▲57.0)3期ぶりに悪化を示した。
業種別では、製造業・卸売業・小売業が悪化を示し、前期▲88.9のサービス業が今期22.2ポイント増で▲66.7となったほか建設業も5ポイント増となった。
来期予想では、製造業・卸売業・小売業が好転の見込み、建設業・サービス業は悪化の見込みである。
全国の調査結果では、前期差1.4ポイント増(▲45.2→▲43.8)で3期連続マイナス幅が縮小している。

経常利益DI(前年同期比)

年 月期	平成28年			平成29年			平成30年			2019			2020			2021	前期増減	来期予想					
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3							
製造業	▲27.8	▲16.7	▲16.7	▲22.2	▲22.2	▲16.7	▲27.8	▲5.6	▲16.7	▲11.1	▲27.8	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲33.3	▲72.2	▲72.2	▲66.7	▲72.2	↘	▲5.6	▲44.4
建設業	▲35.0	▲30.0	▲5.0	▲30.0	▲30.0	▲10.0	▲25.0	0.0	▲15.0	▲25.0	▲5.0	▲15.0	▲20.0	5.0	▲10.0	▲35.0	▲70.0	▲35.0	▲40.0	▲35.0	↗	5.0	▲60.0
卸売業	▲22.2	▲22.2	▲55.6	0.0	▲22.2	▲11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲33.3	▲55.6	▲44.4	▲11.1	▲44.4	↘	▲33.3	▲22.2
小売業	▲51.4	▲45.7	▲37.1	▲40.0	▲57.1	▲57.1	▲57.1	▲51.4	▲42.9	▲37.1	▲54.3	▲40.0	▲31.4	▲41.7	▲61.1	▲58.3	▲77.8	▲69.4	▲50.0	▲66.7	↘	▲16.7	▲61.1
サービス業	▲38.9	▲27.8	▲38.9	▲44.4	▲22.2	▲27.8	▲50.0	▲44.4	▲44.4	▲44.4	▲5.6	▲27.8	▲27.8	▲38.9	▲50.0	▲61.1	▲61.1	▲72.2	▲88.9	▲66.7	↗	22.2	▲72.2
全産業	▲35.1	▲28.5	▲30.7	▲27.3	▲30.8	▲24.5	▲32.0	▲20.3	▲21.6	▲23.5	▲23.0	▲23.2	▲22.5	▲21.8	▲34.2	▲44.2	▲67.3	▲58.7	▲51.3	▲57.0	↘	▲5.7	▲52.0

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

経常利益DI(全産業平均)

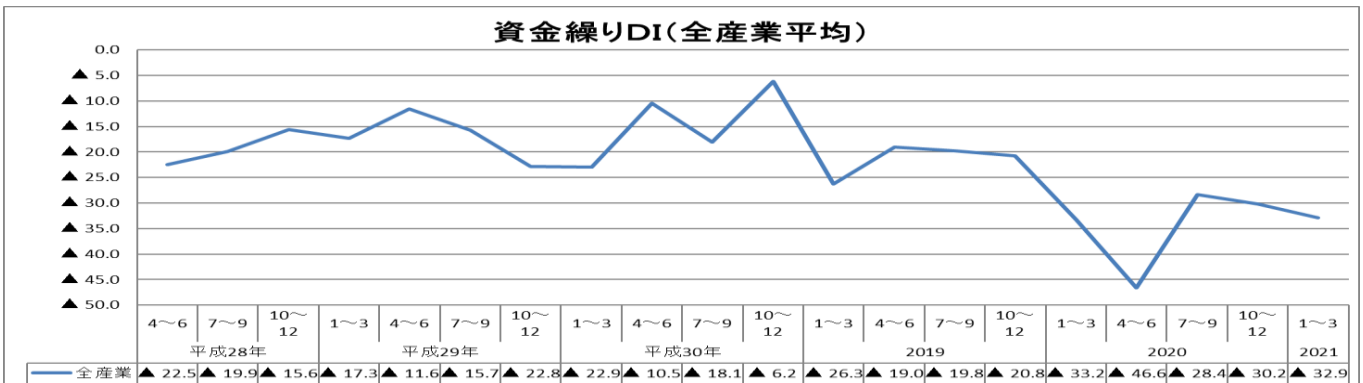


資金繰りDI ▲32.9 (全国平均▲20.6)

全産業平均で前期差 2.7 ポイント減 (▲30.2→▲32.9) で 2 期連続マイナス幅が拡大した。
 業種別に見ると、建設業・卸売業が悪化、製造業が改善、小売業・サービス業が横ばいとなった。
 来期予想では、卸売業・サービス業が好転の見込みとなっているが、製造業が 11.1 ポイント悪化を予想しているほか、建設業・小売業も小幅ながら悪化が予想されている。
 全国の調査結果では、全産業平均で 1.6 ポイント減 (▲19.0→▲20.6) となった。製造業が 2.1 ポイント増でわずかに好転し、非製造業が 2.9 ポイント減で悪化した。

年	平成28年			平成29年			平成30年			2019				2020				2021	前期増減	末期予想			
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3							
製造業	▲16.7	▲22.2	▲5.6	▲5.6	▲11.1	▲11.1	▲22.2	0.0	▲5.6	0.0	0.0	▲11.1	▲22.2	▲11.1	5.6	▲27.8	▲44.4	▲27.8	▲27.8	▲22.2	↗	5.6	▲33.3
建設業	▲20.0	▲10.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	▲15.0	0.0	▲25.0	▲25.0	▲10.0	▲15.0	▲30.0	▲55.0	5.0	▲15.0	▲20.0	↘	▲5.0	▲25.0
卸売業	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲11.1	11.1	0.0	▲33.3	▲22.2	11.1	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲22.2	▲22.2	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲22.2	↘	▲11.1	▲11.1
小売業	▲31.4	▲28.6	▲22.9	▲31.4	▲31.4	▲34.3	▲31.4	▲37.1	▲25.7	▲20.0	▲20.0	▲40.0	▲14.3	▲33.3	▲38.9	▲52.8	▲61.1	▲41.7	▲41.7	▲44.4	→	▲2.8	▲47.2
サービス業	▲22.2	▲16.7	▲22.2	▲33.3	▲16.7	▲33.3	▲22.2	▲50.0	▲22.2	▲33.3	0.0	▲33.3	▲22.2	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲38.9	▲44.4	▲55.6	▲55.6	→	0.0	▲50.0
全産業	▲22.5	▲19.9	▲15.6	▲17.3	▲11.6	▲15.7	▲22.8	▲22.9	▲10.5	▲18.1	▲6.2	▲26.3	▲19.0	▲19.8	▲20.8	▲33.2	▲46.6	▲28.4	▲30.2	▲32.9	→	▲2.7	▲33.3

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

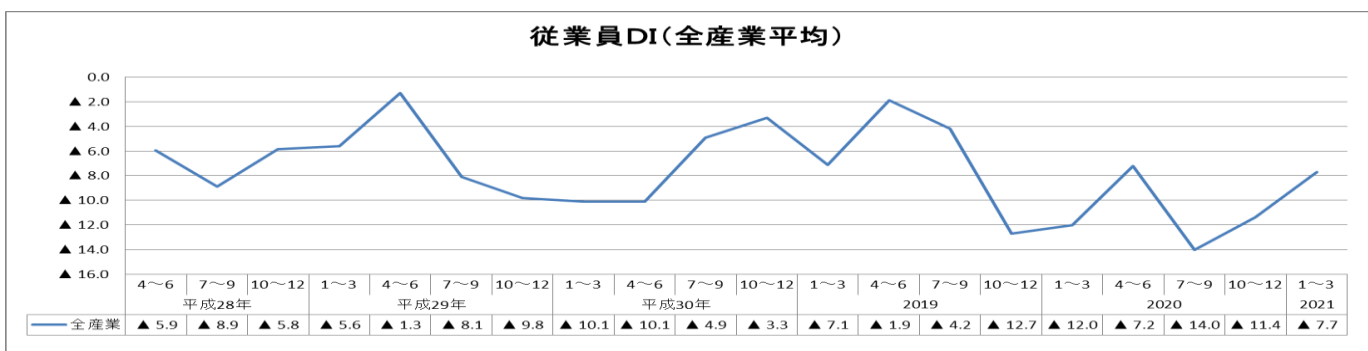


従業員DI ▲7.7 (全国平均▲9.5)

従業員数DIは、3.7ポイントマイナス幅が縮小 (▲11.4→▲7.7) し、増加を示した。
 産業別にみると、サービス業が 16.7 ポイント増でDI値0になったほか、製造業が 5 ポイント増、卸売業・小売業が横ばいとなった。製造業のみ 5.6 ポイント減となった。
 全国調査の従業員DIは、全産業ベースで前期▲8.4→今期▲9.5 とわずかに減少した。

年	平成28年			平成29年			平成30年			2019				2020				2021	前期増減	末期予想			
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3							
製造業	▲11.1	▲16.7	▲16.7	▲16.7	▲11.1	▲5.6	▲11.1	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲5.6	▲11.1	0.0	5.6	▲27.8	▲16.7	▲5.6	▲33.3	▲16.7	▲22.2	↘	▲5.6	▲11.1
建設業	▲10.0	▲25.0	▲15.0	0.0	5.0	▲15.0	▲10.0	▲20.0	▲20.0	▲5.0	0.0	▲5.0	10.0	▲10.0	▲5.0	▲10.0	▲25.0	▲20.0	▲10.0	▲5.0	↗	5.0	▲15.0
卸売業	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	▲11.1	0.0	▲11.1	0.0	0.0	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲11.1	11.1	0.0	▲11.1	▲11.1	▲11.1	→	0.0	▲11.1
小売業	▲8.6	▲2.9	▲8.6	▲5.7	▲5.7	▲14.3	▲11.4	▲2.9	▲2.9	▲2.9	0.0	▲2.9	▲2.9	0.0	▲2.8	▲11.1	0.0	0.0	▲2.8	0.0	→	2.8	▲5.6
サービス業	0.0	0.0	0.0	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲11.1	5.6	0.0	▲11.1	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲16.7	▲11.1	▲16.7	▲16.7	▲16.7	0.0	↗	16.7	▲16.7
全産業	▲5.9	▲8.9	▲5.8	▲5.6	▲1.3	▲8.1	▲9.8	▲10.1	▲10.1	▲4.9	▲3.3	▲7.1	▲1.9	▲4.2	▲12.7	▲12.0	▲7.2	▲14.0	▲11.4	▲7.7	↗	3.7	▲11.9

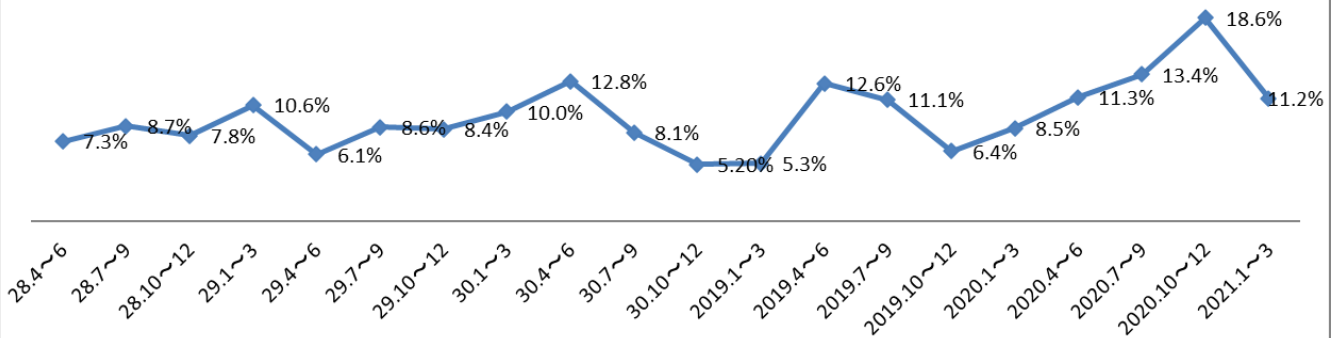
※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



設備投資動向

- ・ 今期設備投資を実施した企業の割合は、11.2%（前期 18.6%）で5期ぶりに減少した。
- ・ 来期設備投資を計画している企業の割合は11.2%で横ばいの見込み。
- ・ 全国の調査結果では今期 17.2%で前期より 2.5 ポイント減少した。来期は横ばいの見通し。

設備投資実施状況の推移
(全業種平均値)



直面している経営上の問題点

製造業	1位	需要の停滞	23%	建設業	1位	民間需要の停滞	22%
	2位	原材料価格の上昇	18%		2位	官公需用の停滞	17%
	3位	生産設備の不足・老朽化	15%		3位	従業員の確保難	17%
卸売業	1位	需要の停滞 大企業進出による競争激化	17%	小売業	1位	購買力の他地域流出	25%
	3位	店舗の老朽化 販売単価の低下上昇難 従業員の確保難	各 13%		2位	需要の停滞	14%
サービス業	1位	需要の停滞	30%		3位	消費者ニーズの変化	10%
	2位	利用者ニーズの変化	15%				
	3位	人件費以外の経費増加	12%				

- ・ 全国調査における経営上の問題点の順位は以下の通り。

	1位	2位	3位
製造業	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化	製品ニーズの変化
建設業	従業員確保難	民間需要の停滞	熟練技術者の確保難
卸売業	需要の停滞	販売単価の低下・上昇難	仕入単価の上昇
小売業	需要の停滞	消費者ニーズの変化	大・中型店との競争激化
サービス業	需要の停滞	利用者ニーズの変化	従業員の確保難